

Money&Investment

生活設計と資産運用 はじめての一步 M&I

コロナ融資無利子も

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、収入の減少に直面している個人は少なくない。経済的な打撃を受けた人を対象に、官民でさまざまな支援策が出てきた。銀行や消費者金融では無利子で一定期間貸し出す融資を始めた。金利面の優遇は魅力的だが、融資は最後の手段だ。まずは家計に無駄な出費がないかを確認したい。

横浜銀行は7月に実質無利子の教育ローンをはじめ、神奈川県に住み、大学や専門学校に通う子どもを持つ人を対象に10万〜50万円を貸し出す。

長期の借入期間

借入期間が2〜10年と長期に対応でき、当初1年の元金返済が据え置きになる。支払利息は神奈川県の子補給に

新型コロナを受けた個人ローンの主な優遇策

	対象	金額	内容
無利子	横浜銀行 神奈川県 の 居住者	10万〜 50万円	大学生や専門学校生への教育費用の融資。県の利子補給で実質無利子に
	SMBC コンシューマー ファイナンス	10万円 まで	融資後1年間で無利息。2年目以降の金利は年4.5%
	佐賀銀行	カードローンの 新規利用者	還元により融資後最大72日間が無利息。以降は所定の利率に
金利優遇	三井住友銀行	コロナにより 損失を受けた人	店頭金利から3%引き下げ。資金使途を確認
	京都信用金庫	カードローン 利用者	金利は年3%。従来から1.8%引き下げ

個人ローン、利用前の注意点

- 家計簿をつけて交際費や通信料など無駄な出費を点検
- 住宅ローンや税金、社会保険料の支払いの猶予や減免を相談
- 政府や自治体が提供する公的な貸付制度も検討
- お金の調達を焦って融資の手続きをしない

Cコンシューマーファイナンスは「プロミス」で新型コロナウイルスで損失を受けた人に対して融資後1年間を無利子とした。融資の上限は10万円で、2年目以降の金利は年4.5%。元金の返済は1年目から発生する。提供開始から2000人超の利用があったという。

金利を引き下げる動きも出ている。三井住友銀行は無担保のローンで、店頭金利から年3%を引き下げる。足元は2.975%で借りられる。300万円が上限で、年収や資金使途を確認する書類を求め、京都信用金庫も金利を9月末まで3%と従来より1.8%優遇している。

税・学費の減免も

無利子・無担保といった優遇上限での融資は、急場しのぎには魅力的に映るかもしれない。注意しなければならぬのは、利子が無くなったのは低くならないとしても、元利金は一定のペースで返済しなければならぬ点だ。無利子の期間は特例で決めている金融機関が多く、終了後は通常の金利に戻ると、一気に支払利息が増える恐れもある。

多重債務問題を専門とし、これまで1000人以上の債務整理に携わった司法書士の岸本純氏は「まずは無駄な出費がないか洗い出すことを始めてほしい」と指摘する。家計簿をつけ出費の傾向を把握することを勧める。交際費や通信料、保険料が必要以上に高い例が多い。定額で支払うサブスクリプションサービスの定着で気づきにくい出費も増えている。

税や社会保険料、学費などを減免したり猶予したりする制度も始まっている。関係する役所や機関の相談窓口問い合わせることも選択肢として有効だ。住宅ローンを抱えている人は、金融機関で支払いを猶予する対応が取れないか聞いてみるのも手だ。

生命保険会社では終身保険や学資保険などの貯蓄性のある保険の契約者向けに一定額を貸し出す「契約者貸付制度」

個人向け、出費見直し大前提

公的な支援策も合わせて確認しておきたい。政府は個人の収入減に対応するため「緊急小口資金」を設けた。20万円を上限に2年間無利子で貸し出す。1年は返済が据え置きで、市区町村の社会福祉協議会などから申し込める。

足元で金融機関の個人ローンの利用は減少傾向だ。三菱UFJ銀行のカードローンは4〜6月の申込件数が前年同期に比べて約4割減った。外出自粛に伴い旅行や冠婚葬祭などで急な出費が少なくなったためだ。

ただ、過去の危機時は個人ローンの利用が急増した例もある。無担保無保証の借り入れが3件以上ある人は、リーマン・ショック直後の2009年度に374万人と、前年度比で17%増えた。

国民生活センターでは3月から8月25日までに、新型コロナウイルスに関わる融資の相談が720件寄せられた。休業や給与の減額で、借り入れの返済が難しくなった人からの相談が多いという。

岸本氏は「当面の資金が確保できているのなら、決断しないということも選択の一つだ」と話す。収入が減少した際に対策を焦り、トラブルにつながる事例も多いという。ローンの利用は無駄な出費がないかを確認し、冷静に判断したい。

(上田志晃)